

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新東京歯科技工士学校
設置者名	学校法人東京滋慶学園

○「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
歯科技工士 専門課程	歯科技工士科 I部(2年制)	夜・通信	91単位	6単位	
	歯科技工士科 II部(3年制)	夜・通信	94単位	6単位	
	歯科技術予備 教育科(1年制)	夜・通信	36単位	3単位	
(備考)					

※記入欄は、必要に応じて、追加・統合可。

○「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校公式サイト 情報公開ページに掲載 https://www.dt.ntdent.ac.jp/information

○要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新東京歯科技工士学校
設置者名	学校法人東京滋慶学園

○理事（役員）名簿の公表方法

学校公式サイト 情報公開ページに掲載 https://www.dt.ntdent.ac.jp/information

○学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人社団 理事長	2018.3.24 ～ 2021.3.23	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 代表取締役	2018.3.24 ～ 2021.3.23	適切な情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	新東京歯科技工士学校 【歯科技工士科Ⅰ部（昼間・2年制）、歯科技工士科Ⅱ部（夜間・3年制）、歯科技術予備教育科（昼間・1年制）】
設置者名	学校法人東京滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施に係る諸規定や実施内容の概要

<p>1. 各授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>本校が定める3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）に則り、『シラバス作成のためのハンドブック』を参考に授業計画を作成している。</p> <p>また、授業計画は毎年学内で開催される様々な会議※で検討され、業界に直結した職業人教育を実現させるために、社会や業界の変化に対応した授業計画の作成に努めている。</p> <p>※歯科技工士教育分科会、産学連携委員会、FD委員会、3つのポリシー検討委員会、国家試験対策委員会、自己点検・自己評価委員会、教育課程編成委員会、講師会議、科目連絡会など</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の授業計画は12月～1月に担当教員が作成し、3月の講師会議・科目連絡会で最終確認後、4月1日に学校公式サイトに掲載する。</p>
<p>授業計画の公表方法</p> <p>現在、教科課程・シラバスは刊行物（学生便覧等）として学校来校者に公開・閲覧可としている。閲覧を希望する方には、本校2階受付・キャリアセンターにて刊行物を公開している。</p> <p>https://www.dt.ntdent.ac.jp/information</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>

<p>(各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生の学業充実(学修意欲や進路意識)と精神面の安定(人間関係や情緒面)を数値化し、学生個人のサポート領域やキャリア教育領域を評価することで学修意欲を把握している。</p> <p>学科教育目標に対する最終評価を国家試験合格と定めているところから、講義科目では「コマシラバス」、実習科目では「歯科技工指示書」といった目標達成支援ツールを用意し、小テスト等によって学修成果を確認している。</p> <p>また、学修成果を適正に評価する目的で一部の科目に「ルーブリック評価」を導入し、徐々に全科目の学修成果を可視化できるよう努めている。</p> <p>【修了・卒業の認定】(学則第22条より抜粋)</p> <p>学業の評価は、試験結果と出席状況を合わせて評価する。</p> <p>その評価はA(90~100点)、B(80~89点)、C(70~79点)、D(60~69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。</p> <p>授業科目の出席すべき日数の3分の2以上の出席に達しない者は、その授業科目について試験を受けることができない。</p>
<p>成績評価において、GPAなどの客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAを導入し、学内の成績評価として使用している。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験(筆記試験、実技試験等)によって評価される。その評価はA(90~100点)、B(80~89点)、C(70~79点)、D(60~69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。</p> <p>各成績は、A:4点、B:3点、C:2点、D:1点に換算し、GPAは該当授業科目の単位数×各授業科目で得たGPの合計を当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計で除した数を求めることによって算出する。</p> <p>成績評価方法は、学校公式サイトで公開するほか、入学時のオリエンテーションで学生に通知している。</p>
<p>客観的な指標と算出方法の公表方法</p> <p>https://www.dt.ntdent.ac.jp/information</p>
<p>卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則で定める成績評価に基づき所定の授業科目を修了し、以下の適応力を身につけた学生に対して卒業を認定するディプロマポリシーを定めている。

1. 学内の教育プログラムや学外現場実習において、社会人基礎力を身につけている
2. 国家資格に合格できる知識と技術を身につけている
3. 患者等の対象者だけではなく、関連する職種間で必要なコミュニケーション力を身につけている
4. 歯科専門人材として、社会に貢献しようとする意識を身につけている
5. 他者や異文化に対する理解を深め、自らの見解と高い視野を備えた国際感覚を身につけている

また、ディプロマポリシーは、毎年学内で開催される様々な会議※で検討され、業界に直結した職業人教育を実現させるために、社会や業界の変化に対応したポリシー策定に努めている。

※ 3つのポリシー検討委員会、国家試験対策委員会、自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、講師会議、進級・卒業判定会議など

卒業の認定に関する方針の公表方法

<https://www.dt.ntdent.ac.jp/information>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の開示（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新東京歯科技工士学校
設置者名	学校法人東京滋慶学園

○財務諸表等

財務諸表等	開示方法
貸借対照表	https://www.dt.ntdent.ac.jp/information
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

○教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		歯科技工士 専門課程	歯科技工士科 I 部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,070 時間/95 単位 単位時間/単位	660 時間	120 時間	1,290 時間	時間	時間
		2,070 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		155人	15人	6人	37人	43人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
専任教員によるクラス担任制度、LMS や通信アプリを利用した教育 ICT サービス（新東京スマホキャンパス）、専門家によるカウンセリング支援（スチューデントサービスセンター）、合理的配慮による支援、学園付属クリニックによる健康面のサポート

(慶生会クリニック) 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
67人 (100%)	6人 (8.9%)	56人 (83.6%)	5人 (7.5%)
(主な就職、業界等) 歯科技工所（企業等）、医療機関（歯科医院等）			
(就職指導内容) 学生ポータルサイトによる求人検索、キャリアセンター所属の専門指導員による個別指導、卒業生による業界講座の開催、同窓会による就職サポート等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科技工士（国家資格） 67名受験 65名合格 合格率97.0%（2018年度実績）			
(備考)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
155人	6人	3.9%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由、家庭の事情、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学内カウンセリング施設によるサポート、一人暮らしセミナーの実施、学費分納制度、就職希望者の就職サポート等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		歯科技工士 専門課程	歯科技工士科Ⅱ部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,085時間/95単位 単位時間/単位	720 時間	45 時間	1,320 時間	時間	時間
		2,085 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		44人	0人	5人	14人	19人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							

(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
専任教員によるクラス担任制度、LMSや通信アプリを利用した教育ICTサービス(新東京スマホキャンパス)、専門家によるカウンセリング支援(スチューデントサービスセンター)、合理的配慮による支援、学園付属クリニックによる健康面のサポート(慶生会クリニック)等

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	1人 (9.1%)	10人 (90.9%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 歯科技工所(企業等)、医療機関(歯科医院等)			
(就職指導内容) 学生ポータルサイトによる求人検索、キャリアセンター所属の専門指導員による個別指導、卒業生による業界講座の開催、同窓会による就職サポート等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科技工士(国家資格)11名受験 11名合格 合格率100.0%(2018年度実績)			
(備考)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	3人	6.8%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学内カウンセリング施設によるサポート、一人暮らしセミナーの実施、学費分納制度、就職希望者の就職サポート等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	歯科技工士 専門課程	歯科技術予備教育科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	825時間/36単位 単位時間/単位	255 時間	時間	570 時間	時間	時間
		825 単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
35人	16人	16人	4人	5人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
専任教員によるクラス担任制度、LMSや通信アプリを利用した教育ICTサービス（新東京スマホキャンパス）、専門家によるカウンセリング支援（スチューデントサービスセンター）、合理的配慮による支援、学園附属クリニックによる健康面のサポート（慶生会クリニック）等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 学生ポータルサイトによる求人検索、キャリアセンター所属の専門指導員による個別指導、卒業生による業界講座の開催、同窓会による就職サポート等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本語能力試験 N3～N1 受験予定			

(備考) 2019年4月開設のため、卒業実績なし

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学内カウンセリング施設によるサポート、一人暮らしセミナーの実施、 学費分納制度、就職希望者の就職サポート等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載 事項)
歯科技工士科Ⅰ部 (2年制)	100,000円	1,000,000円	500,000円	
歯科技工士科Ⅱ部 (3年制)	100,000円	600,000円	200,000円	
歯科技術予備教育科 (1年制)	100,000円	500,000円	250,000円	
修学支援(任意記載事項)				
ファイナンシャルアドバイザーが下記の学費支援制度を活用して修学支援をします。 特待生制度、新東京スカラシップ制度、教育訓練給付金制度、学費分納制度等				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 前年度評価について、学校公式サイトで公開している。 https://www.dt.ntdent.ac.jp/information		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制含む)		
学校評価を通じた組織的・継続的な教育活動等の改善を目的とし、学生・卒業生、関係 業界等の地域のステークホルダーとの連携協力による特色ある専修学校づくりを推進す る。 卒業生、関係業界、関係団体、高等学校、保護者・地域住民等の学校関係者により構成 された評価委員会を年1回開催し、自己点検・評価の結果を基本として評価をする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
歯科技工所 代表者	2018.4.1～ 2020.3.31	卒業生

在校生の保護者	2018. 4. 1～ 2020. 3. 31	保護者
歯科技工関連企業 社員	2018. 4. 1～ 2020. 3. 31	企業
高等学校 教諭	2018. 4. 1～ 2020. 3. 31	高等学校
地域歯科医師会 役員	2018. 4. 1～ 2020. 3. 31	地域・関係団体
学校関係者評価結果の公表方法		
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 前年度評価について、学校公式サイトで公開している。 https://www.dt.ntdent.ac.jp/information		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.dt.ntdent.ac.jp/information
